



## 「自転車走行指導帯」9月末で社会実験終了 10月1日から「実施」へ

金沢市東山、森山地区の国道159号において、3月19日から自転車の路肩走行を促すためバスレーン内への「自転車走行指導帯」の設置を社会実験として行ってきましたが、9月27日に第4回協議会〔国道159号（浅野川大橋～東山～山の上）交通安全対策協議会〕を開催し、効果が認められたことから9月末で社会実験を終了し、10月1日から実施することを決定しました。

### 〈決定内容〉

- ◆ 実施時期 : 平成19年10月1日（月）から
- ◆ 実施方法 : 終日（24時間）
- ◆ 街頭指導 : 冬前迄月1回実施

#### 【問い合わせ先】

国道159号（浅野川大橋～東山～山の上）交通安全対策協議会

事務局：国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

交通対策課長 岡田 茂彦

Tel : 076-264-8800（代表）

携帯 : 090-1638-3610

※番号通知設定でお掛け下さい。

(参考資料1)

## 国道159号(浅野川大橋～東山～山の上) 交通安全対策協議会

※順不同、敬称略

会 委 員	長	金沢大学大学院自然科学研究科	教授	高山 純一
	員	北陸大学教育能力開発センター	教授	三国 千秋
		金沢大学大学院自然科学研究科	助教授	中山 晶一郎
		馬場校下町会連合会	会長	
		森山校下町会連合会	会長	
		金沢東街頭交通推進隊	馬場支隊長	
		金沢東街頭交通推進隊	森山支隊長	
		星稜高等学校	校長	
		金沢桜丘高等学校	校長	
		県立工業高等学校	校長	
		遊学館高等学校	学校長	
		馬場小学校	校長	
		森山町小学校	校長	
		馬場小学校	PTA会長	
		森山町小学校	育友会会長	
		北陸鉄道(株) 自動車部	部長	
		西日本ジェイアールバス(株) 金沢営業所	所長	
		石川県交通安全協会	専務理事	
		地球の友・金沢		
		北国新聞社 論説委員会	論説委員	
		石川県 県民文化局 県民生活課	課長	
	石川県 教育委員会 学校指導課	課長		
	石川県 警察本部 交通規制課	課長		
	石川県 金沢東警察署	署長		
	金沢市 都市政策局 交通政策部長			
	国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	所長		

事務局：国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 交通対策課

歩行者 自転車 バス クルマ お互いにルールを守ること  
**みんなが安全・安心に!**

これまでのどんな効果があったの? **「自転車走行指導帯」社会実験の効果**  
 国道159号浅野川大橋～東山～山の上 3月19日～6月4日



■社会実験の背景

国道159号「浅野川大橋～東山～山の上」間では、狭い歩道上における自転車と歩行者の接触事故が絶えなかったことから、国土交通省金沢河川国道事務所などは、3月19日(月)から、バスレーン内に自転車の通行を促す社会実験を実施してきました。道路交通法では、

自転車は車道の左側端を通行することが定められていますが、この区間では歩道走行や逆走(右側通行)、並進(並んで走る)などのルール違反が多く見られ、特に朝の時間帯では、通学する小学生等の歩行者が、歩道上で自転車を避けなければならない状態でした。

■全国初の交通安全対策

そこで、狭い歩道上から自転車を分離するため、バスレーン左側に「灰緑色」の自転車走行指導帯を設けて、自転車が走行する場所を明確化する社会実験を実施することになりました。これに合わせて、電柱にも歩行者・自転車の通行位置を明示した看板を設置しています。

このように、まちなかの4車線を分離するため、バスレーン左側に「灰緑色」の自転車走行指導帯を設けて、自転車が走行する場所を明確化し、自転車とバス・クルマの共存を図ることは全国初の試みであり、先進的な交通安全対策と言えます(ロンドンでは、自転車とバス・タクシーの共存レーンを実施)。

■交通環境が大きく改善

社会実験開始後、国道159号「浅野川大橋～東山～山の上」間では、ルールを守って走行する自転車が大幅に増加しており、特に朝のバスレーン時間帯では、対象区間を通行する自転車の約8割が自転車走行指導帯を左側通行しています。また、高校生や地域住民等を対象

としたアンケート調査結果をみると、対策前は対象区間を徒歩で通る人の7割以上が「歩行者にとって危険」と評価していましたが、対策後は「安全」との回答が約7割を占め、当初の目的とされた歩行者にとっての安全性向上が図られていると言えます。

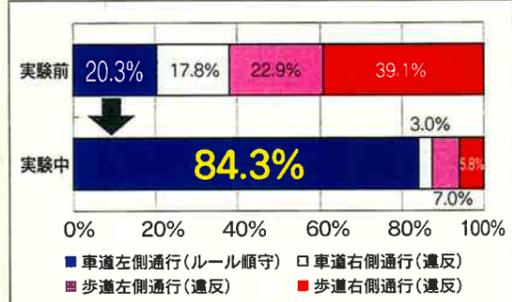
■実験を9月まで延長

約2ヶ月間実施してきた社会実験は、朝のバスレーン時間帯を活用し、地域住民・学校関係者・バス事業者・警察・道路管理者等が一体となって取り組んだことにより、大きな効果を発揮しています。一方、アンケート結果では「本格実施」と並んで「試行継続」を求め

る徹底や交差点における自転車の安全性などの課題がみえてきたことから、社会実験を9月まで延長することに決定しました。今後、課題解決に向けた対策を検討し、歩行者・自転車・バス・クルマのみんなが安全・安心な道路空間の創出を目指します。

**効果1 自転車のルール順守率が大幅に向上!**

自転車の交通ルール順守実態調査 朝のバスレーン時間帯 (7:30-9:00)



※ルール順守率:車道左端(自転車走行指導帯)を左側通行する自転車の割合。

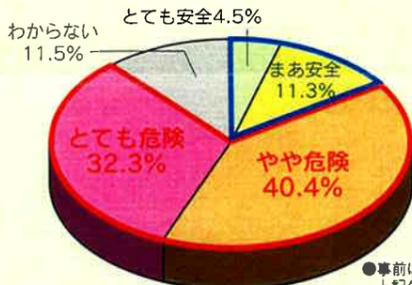


●浅野川大橋～山の上間を5つの区間に分割し、各区間の通過する自転車、走行位置・走行方向別に計測。実験前は平成19年2月21日(水)、実験中は同年5月16日(水)に計測。上記グラフは全区間の平均割合を示す。計測サンプリング数は実験前184、実験中334。

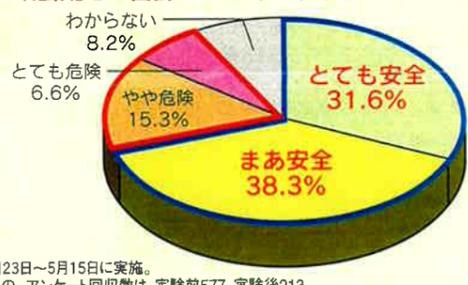
**効果2 「歩行者」は約7割が安全と回答!**

Q. 対象区間の歩道は歩行者からみて安全だと思いますか?

▼実験前アンケートでは、「危険」との回答が73%。



▼「自転車走行指導帯」設置後は、「安全」との回答が70%、「危険」との回答が50ポイント以上減少。

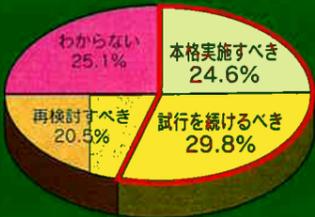


●事前は平成19年1月22日～2月5日、事後は同年4月23日～5月15日に実施。上記グラフは徒歩で通る回答者を対象に集計したもの。アンケート回収数は、実験前577、実験後213。

社会実験の「継続」を求める意見が過半数!

今後の方向性としては、「本格実施」25%、「試行継続」30%であり、肯定的意見が過半数を占める。

●右記グラフは対象区間を通る回答者(1,107人)を対象に集計したもの。



社会実験によって課題が明確に

- ◆朝のバスレーン時間帯以外(日中や夕方)におけるルールの浸透にはもう少し時間が必要
- ◆自転車はクルマ用信号を確認しない場合が多く、信号無視が目立つ
- ◆浅野川大橋～東山交差点(海側)では左折車が多く、自転車が指導帯を走行しにくい状況にある
- ◆信号待ちでクルマが並んだ場合やバス停車時において、自転車に乗ったまま歩道を走行する人が多い等

交通ルールとマナーのさらなる周知・徹底を目指して

9月まで社会実験延長!

自転車はココ「端RUN」け♪

「自転車走行指導帯」を走りましょう!

交通ルールやマナーを守ろう!

- ①自転車…「指導帯」を一人で左側通行、「信号」を守る
- ②バス・クルマ…「思いやり」「ゆずりあい」の気持ちで走行
- ③歩行者…路地や交差点では注意して通行

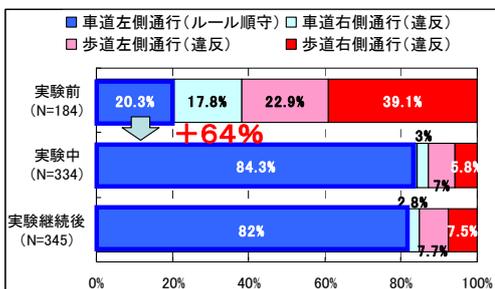


自転車走行指導帯  
 ※自転車の専用通行帯ではありません。交通ルールは24時間守りましょう。

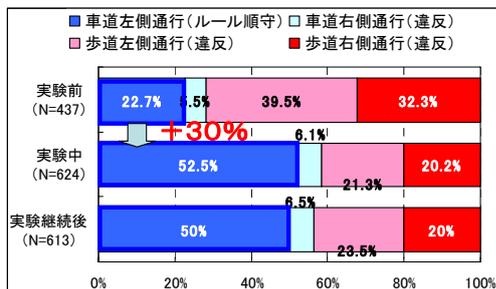
## ① 自転車走行実態の変化

- ◆自転車の**ルール順守率が大幅に向上**
- ◆日中から夕方にかけても順守率は向上
- ◆夏休み後は順守率が若干低下したものの、街頭指導でルール・マナーを周知徹底

【朝のバスレーン時間帯の変化】



【日中～夕方の変化】

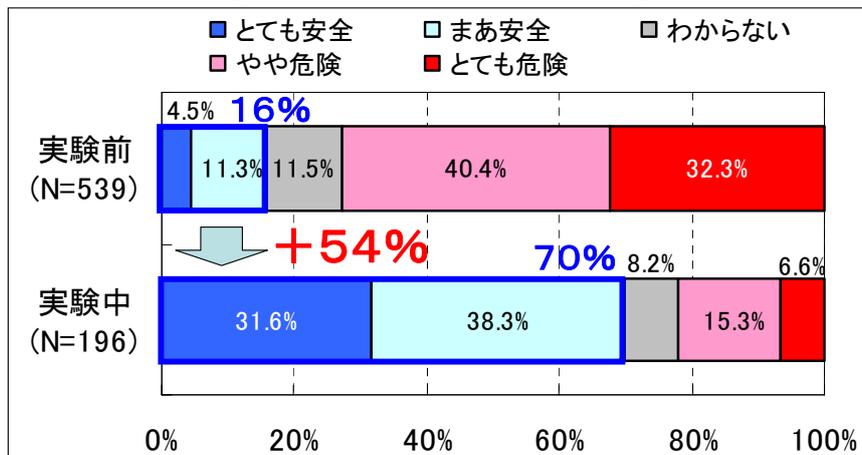


※実験前:H19.2.21(水)、実験中:H19.5.16(水)、実験継続後:H19.9.26(水)

## ② 歩行者の評価

- ◆歩行者の**安全性評価が大幅に向上**  
(16%→70%、+54%)

【歩行者の安全性に対する評価(朝)】

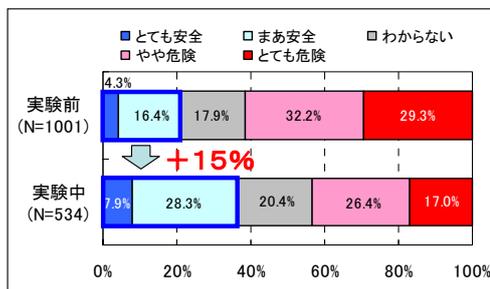


### ③ 自転車利用者の評価

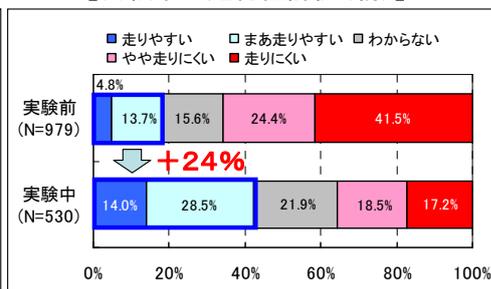
◆自転車の安全性に対する評価が向上  
(21%→36%、+15%)

◆自転車の走行性に対する評価が向上  
(18%→42%、+24%)

【自転車の安全性評価(朝)】



【自転車の走行性評価(朝)】

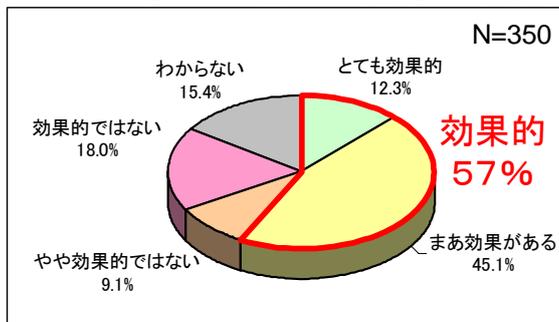


### ④ クルマ利用者の評価

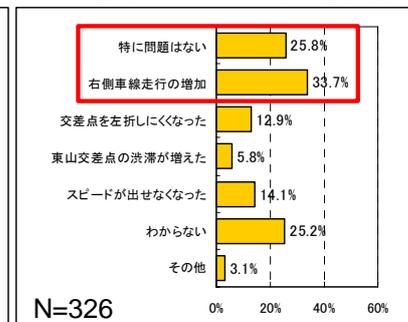
◆今回の対策は「効果的」との回答が約6割  
(効果的57%、効果的でない27%)

◆不便さ・・・「右側車線走行の増加」34%  
「特に問題ない」26%

【クルマで通る人の評価】 実験中

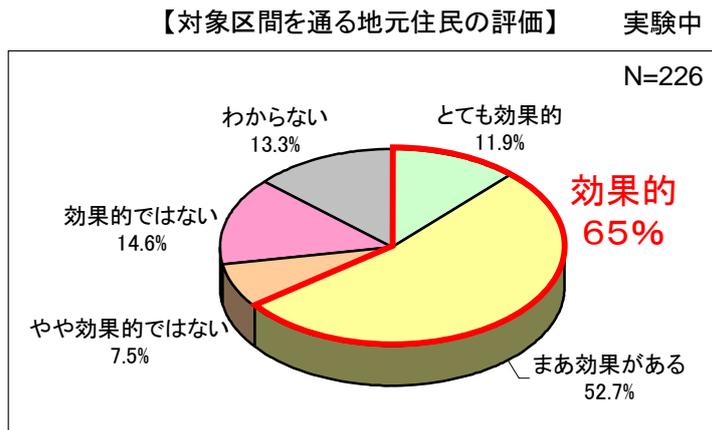


【ドライバーの不便さ】 実験中



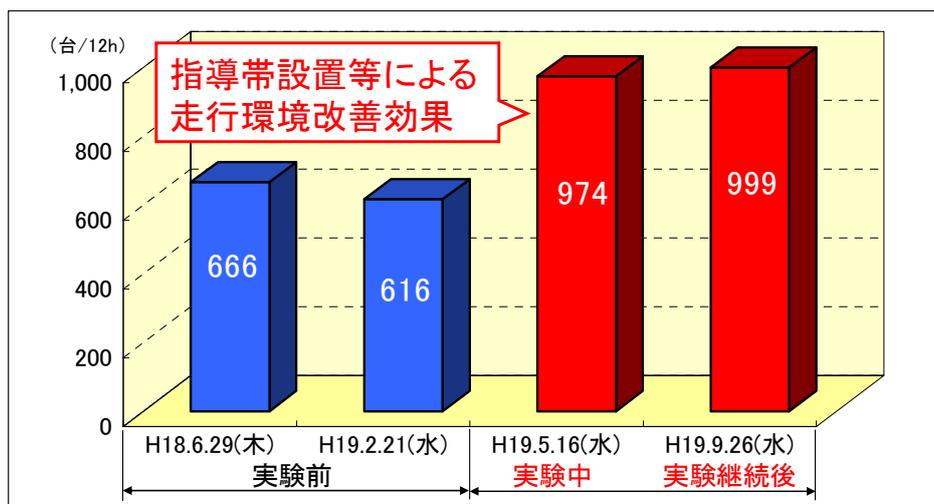
## ⑤ 地元住民の評価

◆ 今回の対策は「効果的」との回答が6割以上  
(効果的65%、効果的でない22%)



## ⑥ 自転車交通量の変化

◆ 指導帯設置後、自転車交通量が約1.5倍に増加！  
⇒ 自転車走行環境の改善による効果と考えられる



※東山二丁目～森山一丁目間の12時間自転車交通量で比較

## ⑦ 社会実験中の事故報告

- ◆ 自転車走行指導帯に関連する**事故報告なし**
- ◆ 指導帯設置後、対象区間の**全事故件数が半減**

	H18	H19
人身事故	2件	1件
物件事故	16件	8件
合計	18件	9件
うち違反自転車の事故件数	5件	2件

※各年4月～6月の事故件数を集計(県警本部)

### ～ 6月4日 第3回協議会以降の取組 ～

- 街頭指導を2回実施(7/13、9/21)
- CCTVカメラによる自転車走行実態の把握
- 高校生ヒアリング(星稜高校・金沢桜丘高校)  
バス運転手ヒアリング(ほくてつバス)
- ヒアリングに基づく課題箇所の対策
  - ・ 信号順守に向けた対策: 10箇所
  - ・ 自転車の逆走防止に向けた対策: 22箇所
  - ・ 東山交差点の安全性向上に向けた対策 他
- 社会実験結果の公表
  - ・ 各種メディアを使用した公表(新聞・ラジオ・雑誌 他)
  - ・ リーフレット1万部の配布(地元町会、高校、小中学校、バス会社 他)
  - ・ ホームページでの情報公開

街頭指導の様子(9月21日実施)

